

【視察先3】 國府 雄人 氏

1. 就農までの経緯

平成26年4月に就農し、今年で5年目。仙台市泉区からの通勤農業（約30分）である。

大学農学部を卒業し、東京で2年勤務した後、仙台に戻り、青果業界でマーチャンダイザー（仕入れ販売係）として販売調査や物流業務を行っていた。しかし、震災をきっかけに就農を決意。

起業を考えたときのひとつの選択肢が農業であった。その自分スタイルを実現するため、平成24年12月から1年4ヶ月間、農業次世代人材投資事業（準備型）を活用し、仙台市若林区の青年農業士である遠藤氏の指導を受け、野菜の栽培技術を学んだ。

研修期間中に仙台市内で農地を探したものの、見つからず難航したが、大衡村でまとまった面積の農地を借り受け、就農することができた。



2. 生産～販売について

現在、露地畑60a、ハウス3棟（うち1棟は調整室や倉庫として使用）。

ナス、ピーマン、オクラ、ネギ、レタス、ソラマメ、玉ネギなど15～20品目を栽培しており、今年はネギを2倍に増やした。

販売先は、主としてヨークベニマル2店舗、他に万葉おおひら館やおてんとさん、フジサキ等に直売。

3. 経営の方向性

基本的には、ひとりで作業するため、慣行農法で効率の良さを優先している。今は、農法や味、作目にこだわるより、見栄えの良さや大きさの均一化に重点をおいて生産販売している。

コンスタントに栽培できる技術が身に付いてから、味にもこだわっていきたい。

今後については、ハウスをもう1棟増設するか圃場面積を増やすことで増収を図る。また、カシス、フサスグリ等、果樹の栽培を検討している。

収益を上げることを一番に考え、経営として成り立つ農業を目指している。

4. 新規就農希望者に一言

助成をうけるために計画書を作る、農地を借りる、販売先を探すなど、とにかく就農するためには、自分をアピールすることが必要です。